

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則は、2021年度日本陸上競技連盟規則に準じるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。
なお、「同じ競技者が2回不正スタートした場合は失格」のルールを適用して実施する。スタートの合図は、イングリッシュコマンド「On your marks : オン・ユア・マークス」(意味:位置について)「Set : セット」(意味:用意)を使う。
2. トラック競技の招集について
 - (1) 招集所は設けないので、参加児童1名と帯同者1名の2名で、指定した競技スタート場所付近に直接集合する。
 - (2) 招集開始は、競技開始の30分前に開始し、競技開始10分前に完了する。招集に遅れたものは、当該種目に出場できない。
 - (3) 招集時に腰ゼッケンを交付するので、右腰やや後方に着けること。
3. 各種目決勝タイムレースで行い、上位8名による決勝は行わない。
4. 全天候舗装走路では火傷の危険があるので、素足での競技は禁止する。
5. オールウェザー用のスパイクシューズ(ピンの長さ9mm以内)を使用してもよい。
6. スタートは、クラウチングスタートとする。その際、スターティングブロックを使用してもよい。なお、4年生の競技においては、スタンディングスタートでも構わない。
7. 80Hは、山形市小体連ルールにて行います。
*ハードルの高さ 60cm *ハードル間 6.5m *ハードル台数 8台
*スタートから第1ハードルまで 13m *最終ハードルからゴールまで 21.5m
8. 走幅跳は本部前ピットで男女同時(コンバインド含む)に実施する。一人3回の試技(コンバインドは2回)とし、ベスト8は行なわない。
招集は、競技開始30~20分の間、競技場所にて行う。
9. 走高跳の跳躍方法は「はさみ跳び」とし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背・腰から落下した場合は無効試技とする。同一の高さに挑戦できるのは3回ずつとするが、同一の高さでなくとも3回(コンバインドは2回)続けて失敗した場合は失格とする。
最初の試技は、競技開始時に決定し、5cmずつバーを上げていく。
招集は、競技開始30分前~20分の間、競技場所にて行う。
10. ジャベリックボール投は、大会事務局が準備したものを使用する。助走距離は15m以内とし、一人3回(コンバインドは2回)の試技とする。試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドで投げることにする。羽根だけを持って試技することは禁止する。
招集は、競技開始30分前~20分前まで、競技場所にて行う。
11. アスリートビブス(ナンバーカード)は主催者側で準備し、当日受付で手交する。
なお、帰られる時には受付した場所に返却する。
12. 記録証について
当日の混雑等を避けるため、HPに記録賞をアップするので、そこからダウンロードしてください。(本大会記録証アップ予定日6月9日(水))なお、本大会は非公認大会の為、県陸HPにも、年間30傑にも載りませんのでご承知おきください。

新型コロナ感染拡大防止に関して参加者にお願ひする事項

(1) 競技会当日に以下の体調等に関する確認書類(体調管理報告書)を提出すること。

- ①連絡先(感染者が発生した場合に必要)
- ②当日の体温及び過去2週間の体調。(平熱を超える発熱<おおむね37.5度以上>、咳・のどの痛みなど風邪の症状、倦怠感、呼吸困難、味覚・臭覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等の有無)
- ③過去14日以内に同居家族や身近な知人に感染が疑われる者の有無。
- ④過去14日以内に入国制限の国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無。

以上の②から④の事項に該当する場合は参加できません。

(2) 競技会全体での感染防止策

- ①マスクの着用。(運動中や周囲に人がいない場合及び熱中症防止等やむを得ない場合を除く。)
- ②こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③密閉、密接、密集の三密を避け、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ④競技会中に大きな声で会話・応援等しないこと。
- ⑤感染防止のために主催者が定めた処置を守り、指示に従うこと。
- ⑥競技会終了2週間以内に新型コロナ感染症を発症した場合、主催者に速やかに報告すること。

(連絡先: 山形市陸上競技協会事務局 TEL:023-633-7677)

- ⑦競技会前後のミーティング等は簡潔にし、その際においても三密を避けること。

(3) 競技中やウォーミングアップ時

- ①汗拭きタオル等の共用はしないこと。
- ②水やスポーツドリンク等の回し飲みをしないこと。
- ③飲みきれなかったスポーツドリンク等を捨てないで持ち帰ること。
- ④ウォーミングアップは個別に行い、参加者以外付き添い等の立ち入りを禁ずる。
- ⑤競技中やウォーミングアップ時において、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- ⑥競技の待機場所等では会話を控えること。
- ⑦競技の前後に石鹸等での手洗い又は手指消毒をすること。

(4) 芝生席での観戦・応援

- ①観客や応援者同士が密な状態とならないよう、十分留意すること。
- ②大声での声援を送らず、また会話を控えるよう心掛けること。
- ③会話をする場合にはマスクを着用すること。